

将来世代の 経験価値を、 日本の 未来価値に！

地域社会の課題解決を行う若者たちの知恵と行動と成長にご協力ください。

BACwithの若者たちは顔が見える若者たちです。

オープンなアイデアコンテストで出会いから選定・運営までをトータルに、また持続的に支援することができます。

ご支援方法は寄付・各種イベントへの協賛・参加協力、活動する学生・若者たちへの知恵や手段のご提供など様々です。

詳細は合同会社BACwithまでお問い合わせください。

お問い合わせ・資料請求について
メールでのお問い合わせ (24時間受付)

info@bacwith.jp

合同会社BACwith 実施事業

2023年12月 第1回BACチャリティイベント
(愛知県名古屋市 などのキャンパス)

2024年4月 第2回BACチャリティイベント
(大阪府大阪市 京セラドーム大阪)

2024年12月 ソーシャル innovation EXPO2024
(愛知県名古屋市 ポートメッセ名古屋)

2025年6月 ソーシャル innovation EXPO2025
(大阪府大阪市 マイドームおおさか)

会社概要

会社名 合同会社BACwith (ビー・エー・シー・ウィズ)

所在地 〒540-0026
大阪府大阪市中央区内本町1丁目2番6号

メール info@bacwith.jp

設立年 2023年10月30日

資本金 100万円

事業内容 1.社会課題解決支援事業
2.イベント企画・運営事業
3.動画制作・編集事業

これまでの協力企業・団体

スタディメーター(株)/リアルインベストメント・アドバイザーズ(株)/TOPPAN(株)/(一社)SDGsオープンイノベーションプラットフォーム/(一社)日本DAO協会/
彦根市/彦根市教育委員会/京都大学/コムファ
eSportsStadiumNAGOYA/(株)Bamosグループ
/RULEMAKERSDAO/NeiPia(合)/こいし整形外科/
玉田レディースクリニック/(一社)オーナー財産管理支援機構/(株)ワンダーライフ/(株)アドバンス/(有)クリーンコスモス/(株)アセント管理サービス/(株)カインドサービス/寺本司法書士事務所



BAC公式サイト



X公式アカウント
(@B_A_Cwith)

<https://bacwith.jp>

若者を全面的に
応援するプロジェクト

Bright
Any
Colors



合同会社 BACwith



若者の挑戦から社会価値を育てる循環サイクル

挑戦機会の提供を通じて、若者の潜在力を社会とつなぐ
取り組みの過程が地域社会の経験値や知見として活かされる
実践が連鎖し、持続可能な価値創出サイクルを形成する

現在の取り組みと実績

イベント「ソーシャル Innovation EXPO」を主催

地域プレイヤーや若者の発想に、DAOやテクノロジーの力を掛け合わせ、社会課題の解決を目指す共創型イベントです。
学生、スタートアップ、企業、団体、自治体など、多様な担い手が全国から集結。
リアルな実践を紹介するブース展示、現場の声を届けるセッション、チャレンジを促すアイデアコンテストを通じて、地域の未来像を描き、継続的な連携ネットワークの構築を支援しています。

地域資源を活かした定期交流イベントの開催

2024年10月より、地域住民・若者・子どもたちが世代を越えて交流・学び・挑戦できる定期イベントを開催。
公益施設や空き家を「地域と次世代をつなぐ拠点」として再定義し、多様な立場の人々が関わり合いながら、社会課題に向き合う持続的な仕組みづくりを進めています。

◎ 全国対応可能：地域特性に合わせた柔軟な設計

◎ 企画・運営一体型：イベント設計から実施、成果報告まで一貫サポート

◎ 若年層との接点強化：地域関係人口創出や教育連携にも対応



CASE STUDY 1 滋賀県・彦根市 足軽組屋敷



地域の財産でもある足軽組屋敷を活用し、市外・県外からも人が集まるエンターテインメント事業（eスポーツなど）と、クリエイターや学生が彦根市に滞在し、地域資源を活かした企画を共創する取り組みを展開。歴史的建造物の維持管理とあわせて、多様な人々が集まり交流する拠点として、地元の協力や支援が得られている。

CASE STUDY 2 滋賀県・彦根市 西地区公民館



彦根市の公民館を舞台に、学生ボランティアと連携したeスポーツ体験イベントを企画・運営。若年層の施設利用を促進するとともに、地域住民との交流を生み出す新たな仕組みとして高い評価を得た。行政・教育機関との連携により、地域資源を活かしたコミュニティ形成のモデルケースとして、他地域への展開も期待されている。

CASE STUDY 3 香川県・高松市 屋島



デジタル技術やAIを学ぶ新たなリスクリングの場として空き家を活用。テクノロジーを暮らしにも役立つ身近なものとして楽しみながら、世代を超えたつながりや学びの機会を広げ、新たな交流を生み出している。地元住民や学生チームと協働し、地域文化や観光資源を国内外へ発信する取り組みが進行中。

可能性を見つけ、未来を咲かせます。

Staff Message



代表社員
鍋嶋晶子

私たちは、より良い社会を目指し、若者支援と地域創生活動を行っています。若者が積極的に挑戦し、失敗しても再び挑める環境を実現できる社会こそが、さまざまな社会問題を解決していく基盤になります。
若者の定義は年齢だけではありません。中高年は勿論、地域の皆様、協力企業の皆様など、挑戦できる場を提供し、社会課題の解決を共に実行する関係者全てが若者であり、未来価値を創造しているのだと考えています。
さまざまな課題を新しい視点で解決できる環境づくりを行うことで、各々が成長し、その結果が社会に還元される。そんな、より良い未来を実現したいという私たちの小さな一歩が、将来の日本に少しでも貢献するよう、今後も全力で取り組んで参ります。



ファウンダー
寺本俊孝

新世代の活躍の場を増やすには、彼らの情熱が発露する機会や場所の創出が必要と考え、合同会社BACwithを設立しました。社会課題を解決する若い情熱を共に育てていく仕組みを構築し、まだ設立1年目ですが、大学・行政からも応援いただいています。
京都大学工学部卒。司法書士、会計士補。大手企業の法務支援を行うかたわら、若者たちの自立と活躍の場の創出に取り組んでいます。アミューズメント事業の企業支援を行うなかで、若者たちの情熱が既存のシステムや慣習を超えて新たな市場を切り開いていることに注目。若者の力を活かすには先入観や既存の枠組みに囚われない思考が重要と考え、eスポーツやweb3に関する企画、イベントの実施、コンサルティングもスタート。

メディア掲載例

2024年10月13日 京都新聞 ▶

▼2024年10月21日 中日新聞

